

### 基本データ

日時：2019/03/23 10:00-13:00頃

場所：同志社女子大学 今出川キャンパス

運営体制：

職員14名 | 学生委員0名 | 学生会5名

参加者数：110組202名(保護者 | 新入生)

### 目的/概要

大学生活への不安解消や大学生協について知ってもらうために行われた、同志社女子大学への入学者が対象の説明会。

### コンテンツ

- ・在学生が伝えたい同女の魅力
- ・いまどきの学生事情
- ・生協・共済の案内
- ・個別ブース
- ・ミールシステム体験

## 01 一日の流れに こだわる！

やはり生活を支えるのが、生協の役割なんです！

説明会が始まりまず、大学の4（6）年間でたくさんチャレンジしよう！いろんな学びと成長をしよう！と英語で教授からの熱弁がありました。その後はキャンパス紹介や同女の魅力を学生が話す時間がありました。

前半の同女生の生活実態の話が終わると、やっとここで初めて生協の説明です。こういった流れ自体から、生協は同女生の生活を支えていることが伝わってきます。

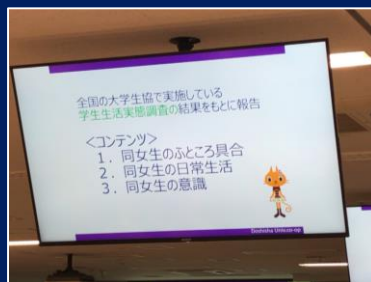


参加者の顔は真剣ながらも、期待に胸が膨らませた表情がありました。

## 02 学生生活実態調査を もとに伝える

大学生の姿がイメージできる

職員が学生事情を伝える時間では、学調のデータが多く使われていました。「収入は月5〜7万円の人が多い。時給1000円と仮定すると月50時間くらいはアルバイトをしていることになる」というように、ただ結果を述べるのではなく、分析したうえで学生の生活がイメージできるように伝えられていました。実際に学生から聞いた話も混ぜられていて、同女生の姿がより想像しやすくなっています。



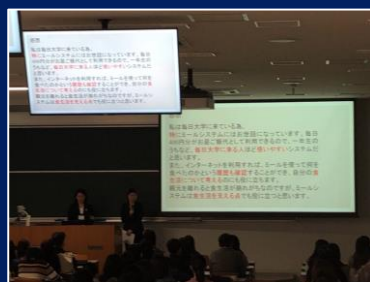
「読書時間0分が61.8%。読書で自分自身を豊かにしてほしい」という職員自身の想いが伝えられていました。

## 03 学生委員会はない 学生や教職員と協力

組合員参加の形のひとつ

日常的に関わる教員と協力し、その研究室の学生が同女の紹介動画を作成していました。また、学生会の役員や講座の元受講生が全体発表や個別ブースで話しており、多様な組合員参加で説明会がつけられていました。

同女には学生委員会はありませんが、このように協同しているのは素敵ですね！



「ミールのおかげで食生活を意識するようになりました」という学生の声が印象的でした。

### 訪問者からひとこと

女性の抱える生理の悩みや不安に注目した、食生活改善の話がありました。女子大学だからこそ、女性に寄り添える生協であるのは安心できますよね！



関西北陸ブロック  
学生事務局  
[有末・本溜]

